

統計メールニュース No.1713(2024.12.13)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

このアドレスは、配信専用です。このメッセージに返信しないようお願いいたします。

【本日の公表データ】

■2024 年(令和 6 年)科学技術研究調査結果

《研究費》

○2023 年度の科学技術研究費(以下「研究費」という。)は、22 兆 497 億円(対前年度比 6.5%増)で、3 年連続で増加し、過去最高

○国内総生産(GDP)に対する研究費の比率は、3.70%と前年度に比べ 0.05 ポイント上昇

○研究費を研究主体別にみると、企業が 16 兆 1199 億円(対前年度比 6.5%増)と最も多く、大学等が 3 兆 9365 億円(同 2.5%増)、非営利団体・公的機関が 1 兆 9932 億円(同 15.1%増)

○企業の研究費を産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が 4 兆 4361 億円(対前年度比 10.6%増)と最も多く、次いで「医薬品製造業」が 1 兆 5386 億円(同 7.6%増)、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が 1 兆 3706 億円(同 11.3%増)など

《研究者数》

○2024 年 3 月 31 日現在の研究者数は、90 万 7400 人(対前年度比 0.3%減)で、8 年ぶりに減少

○研究者 1 人当たりの研究費は、2430 万円(対前年度比 6.9%増)で、3 年連続の増加

○女性研究者数(実数)は、18 万 2800 人(対前年度比 0.3%減)で 43 年ぶりに減少したもの、研究者全体に占める割合は 18.5%(前年度に比べ 0.2 ポイント上昇)と過去最高

<https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「3 つの調査で、暮らしをよりよく」(統計調査紹介ムービー)

<https://youtu.be/P2AEh0hbFNE>

□「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中!

令和 7 年 1 月 14 日(火)にリニューアル開講する「誰でも使える統計オープンデータ」の受講者を募集中です。誰でも無料で学べるデータサイエンス・オンライン講座です。

統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説する講座です。今回、全面リニューアルを行いました。新しく生まれ変わった本講座を是非御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

配信先の変更・配信中止・パスワードの再発行など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp